

# アーバンシステム環境通信

NO.29

2008年12月26日

## 図書環(ナビウス中野)

みなさん、読書は好きですか？今回の環境通信は、NPO 集住センターNEWS（管理組合活動紹介 NO.1）にて掲載された「ナビウス中野」という分譲マンションでの試みである、「図書環」をご紹介します。

### ◎「図書環」とは

マンションのゴミ置場に、ゴミとして排出された文庫本や雑誌等を「図書環」と題した陳列棚に並べ、持ち出し自由、返却期間も限定しない、本の再利用の場です。

リユース、リサイクルを実践し、環境保護への貢献をしています。この試みは ISO14001 の活動の一貫としても評価され、管理会社の ISO 審査の時は毎年必ず審査員が訪れています。

### ◎始めたきっかけは

管理員である渡邊さんのアイデアからでした。

最初は、住人がゴミとして出した本を、渡邊さんが持ってきては読んでいたそうです。そうしているうちに、これはみなさんにも利用してもらいたい。と考えるようになり、ゴミ置場の中に、ほのぼのしたスペース作りと、社会の地球温暖化対策の貢献という意味で「図書環」を始めました。

### ◎その他、環境への取組み

このゴミ置場内には全て「光触媒加工」が施されています。

光触媒は紫外線を浴びることによって、汚れを分解するという効果があるため、壁の表面に汚れが付かないという画期的な物質です。目には見えないので、見た目ではわかりませんが、清潔な状態が維持されており、通常は、経費もかかり、皆の賛同も得にくいなど、実施までは難しいのが現状ですが、こちらも渡邊さん自らが実績を作ろうという考えから、施工しました。

「図書環」は始めてみると住人の反応はものすごく良く、「是非、置かせて下さい」とか、「本当に持って行っていいのですか」「自分の物にしてもいいのですか」などの声も聞かれています。

今後は、本だけでなく、CD など別の物もやって行きたいそうです。



←ナビウス中野



綺麗な図書環内部

監修：山下英輔 記者：岩松美千子